

特集

J Aいわて平泉から届けたい

～安全・安心な農畜産物をこれからもずっと～

J Aいわて平泉は水稲と園芸、畜産の複合経営を推進しています。後継者不足が叫ばれる中、当管内も例外ではありません。しかし、若き力が少しずつ育ち、当産地に元気と希望を与えています。親子で農業を営む農家を紹介しながら、当地域での就農状況や支援対策事業を紹介します。

表1 新規就農者の就農区分

	H24	H25	H26	H27	H28	合計
新規学卒者	0	1	1	2	0	4
Uターン就農者	15	11	16	5	9	56
新規参入者	4	2	1	2	2	11
農業雇用	11	4	3	8	8	34
合計	30	18	21	17	19	105

資料：一関農業改良普及センター

表2 新規就農者の就農時年齢区分

	H24	H25	H26	H27	H28	合計
10代	2	0	0	3	3	8
20代	6	3	10	7	6	32
30代	9	9	8	4	4	34
40代	6	5	3	1	3	18
50代	5	1	0	2	0	8
60代	2	0	0	0	0	2
不明	0	0	0	0	3	3
合計	30	18	21	17	19	105

資料：一関農業改良普及センター

J Aでは独自に「黄金の郷づくり推進対策事業」を柱に、農家組合員の所得向上に向けて取り組んできました。園芸品目においては生産面積の拡大が図られたほか、畜産では繁殖農家が減少する中にもあっても素牛の出荷頭数が増えるなど効果が表れています。

そして、産地を維持するために新規就農者や後継者の確保にも力を入れ、「新規就農者ワンストップ

相談窓口」や新規栽培者向けの現地見学会、「園芸だよ！全員集合」などの支援対策にも力を入れています。直近5年間の新規就農者（表1）はほぼ横ばいですが、表2から20代と30代の就農者数が多いことが分かります。

J Aでは、今後も関係機関と連携を強化しながら新規就農者や生産者を支援していきます。



父から子へ

子どもたちに安定した経営を見せることが、後継者確保につながると思います。米作りに自信と誇りを持ち、同じ志を持った仲間と共に次代へと継承してもらいたいです。



米
生産者

一関市中里 遠藤 清春さん(69)
きよき
清行さん(43)

経営内容 水稻35ha

清行さんに聞きました

Q 就農したきっかけは？

A いずれ父の後を継ごうと思っていたこともあり、子どもが生まれるタイミングで就農しました。子育てに時間がとれ、成長を見守って来れたと思います。

Q 実際就農されどうでしたか？

A 就農当初は若い農業者がいない事での不安がありました。さまざまな活動を通じて仲間が増え、人との出会いに感謝しています。また、地域や学校とも連携した取り組みができたことも良かったです。

Q 今後の意気込みは？

A 地域農業を担い、次の世代を育て、次代へとつないでいきたいです。他の産業や行政などのつながりの中で視野を広げると共に、農業を継承するための方法を模索し、家族や仲間と協力しながら産地を守っていきたいです。



キュウリ
生産者

花泉町永井 本田 洋一さん(69)
こう
幸さん(43)

経営内容 キュウリ17a

幸さんに聞きました

Q 就農したきっかけは？

A 花泉は父のふるさとで、家を守るため帰郷しキュウリ栽培を行っていました。その家とキュウリ栽培を継ぐため、生まれ育った横浜からIターンしました。

Q 実際就農されどうでしたか？

A キュウリの成長に合わせながら自分のペースで仕事ができるのは良いと思いますが、キュウリは成長が早く出荷時期は休みがないため体力的にきついです。

Q 今後の意気込みは？

A 来年、経営移譲されることになっているので、今の取量を上回りたいと思っています。一つひとつの作業を確実に覚え、逃げずにキュウリと向き合っていきたいです。



父から子へ

普段の作業の様子から、安心して任せられるようになって感じています。来年からはサポートに回り、息子を支援していきたいです。自分の目標に向かってしっかり取り組んでもらえればと思います。



花泉町老松 **千葉 稔**さん(53)
亮介さん(29)

和牛繁殖 経営内容 和牛繁殖 28頭
水稲 6 ha

亮介さんに聞きました

Q 就農したきっかけは？

A 7年前に嫁ぎ、祖父と父が担っていた和牛繁殖ですが、3年前が代替わりの時期にあたり父の力になりたいと就農しました。

Q 実際就農されどうでしたか？

A 祖父や父の作業する姿が楽そうに見えていましたが、実際は体力的にきつい仕事だと思いました。しかし、成果が目に見えるのでやりがいがあります。

Q 今後の意気込みは？

A 父の代で飼養頭数を倍にしたので、いずれ今の倍の飼養頭数にしたいと思っています。そして、地元の肥育農家を買ってもらえる牛を作りたいです。

父から子へ

就農してくれたことに感謝しています。何もわからない状態で就農し大変な事も多いと思いますが、仲間のネットワークを広げ自分で研究しながら頑張ってもらいたいです。



千厩町小梨 **尾形 誠**さん(55)
幸希さん(30)

酪農

経営内容 酪農60頭
(搾乳40頭、未經産20頭)

幸希さんに聞きました

Q 就農したきっかけは？

A 小さい頃から牛がいるのが当たり前で、小学生の頃から手伝っていました。祖父と祖母を手伝うため、高校を卒業し就農しました。

Q 実際就農されどうでしたか？

A 就農して1、2年は休みがなく大変だと思いました。しかし、酪農は年間の収入が安定しているので経営計画が立てやすいと思いました。

Q 今後の意気込みは？

A 所得向上を図るため経費を節減していきたいです。そのために、良質の自家産粗飼料を取るために春の一番草を刈り遅れないようにしたいです。



父から子へ

農業は手を掛けた分の見返りがあります。適期作業を行いながら、掛けるべきところには手を掛け所得につなげてほしいと思います。そして、早く良いパートナーを見つけることを願っています。

就農に向けたJAの支援

JAでは関係機関と連携し、就農したい方の課題解決のサポートをしています。さまざまなシーンやニーズに合わせた対応をいたしますので、お気軽にご相談ください。

まず何から始めたらいいの？ 新規就農ワンストップ相談窓口

JAや市町、県で構成する一関地方農林業振興協議会では、「新規就農ワンストップ相談窓口」を開設しています。関係機関が連携して、就農を考える方の課題解決に向け相談に応じます。経営計画の策定や、施設の導入、資金の調達などお気軽にご相談ください。

お問い合わせ

JAいわて平泉営農振興課	☎ 34-4001
一関農業改良普及センター	☎ 52-4961
一関市農政課	☎ 21-8421
平泉町農林振興課	☎ 46-5564



栽培作物は何にしよう？ 園芸だよ！全員集合

JAでは、農業に興味のある方や、これから農業を始めたい方を対象に園芸作物について知っていただく機会を設けています。管内農家の現地見学会や主要作物についての説明会を開催している他、個別相談も行っています。11月21日、22日に説明会を行います。詳しくは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ JA園芸課 ☎ 34-4003



農業を 始めたいな

栽培技術を学びたいな 新規学卒者等就農促進支援事業

一関市内で就農を希望する方に対し、雇用による栽培研修や座学研修等、就農に向けた研修を行っています。市よりJAが事業を受託しています。この他、国や県、平泉町でも支援事業がありますのでご活用ください。

お問い合わせ JA営農振興課 ☎ 34-4001

資金はどうしよう？ 黄金の郷づくり推進対策事業

JAでは独自の支援対策事業「黄金の郷づくり推進対策事業」を行っています。初期の設備投資や経営規模拡大などにご利用いただけます。また、国が事業主体となっている交付金等もありますので、詳しい内容・条件につきましてはお問い合わせください。

お問い合わせ JA米穀課 ☎ 34-4002
JA園芸課 ☎ 34-4003
JA畜産課 ☎ 34-4020

